

記念講演会

『文化財修理にかける心

～仏師

飯田雅彦の足跡と思い出～』

講師 陰山 修氏 (公益財団法人美術院 所長)



飯田さんは、滋賀県在住の仏師（仏像等の修理）で美術院で多くの木彫文化財の修理に携わった方です。

その中でも代表的なものが東大寺南大門の金剛力士像です。

飯田雅彦略歴

昭和12年6月 三重県に生まれる
昭和32年3月 佐藤玄々の内弟子となる
昭和37年8月 美術院に入所
平成14年4月 美術院修復部長となる
平成17年3月 美術院退職する
平成28年3月 死去（生涯仏師として生きる）
<受章歴等>
平成5年11月 東大寺権大仏師職を授与
平成12年11月 文化庁長官表彰
平成15年4月 黄綬褒章受章

開催日：平成30年9月9日（日）13：30～15：00

場 所：あけぼのパーク多賀 2階大会議室

定 員：50名（無料）申込み不要

公益財団法人 美術院

岡倉天心が明治31年（1898）に創設した「日本美術院」の国宝修理部門が組織の起源で、創設時から現在に至るまで一貫して国庫補助による文化財修理を委嘱されてきました。

国宝・重要文化財に指定されている木彫（仏像・神像など）修理は、そのほとんどを手がけており、地方自治体指定や未指定の文化財修理にも積極的に携わっています。

百年を超える文化財修理の伝統を有しますが、代々技術者に受け継がれてきた修理技法のうち、特に「木造彫刻修理」技術は、文化財保護法が定める「選定保存技術」に第1号として選定されています。

（（公財）美術院ホームページより）

問い合わせ先

多賀町立博物館 TEL0749（48）2077